



# 浜風

## HAMAKAZE

発行：青森県漁業士会  
青森県水産振興課内  
TEL 017-734-9592  
編集：「浜風」編集委員会  
印刷：東北印刷工業㈱

### わたし達もがんばってます！！

平成13年度に6名の女性漁業士が誕生してから、今年で2年目になります。まだ人数も少なく、どのような活動をしていったらよいか手探り状態の中ですが、女性の視点からの漁業士活動を実施しています。今回は、その女性漁業士の方々を紹介したいと思います。また、今年度から女性の普及員が2名となりましたので、あわせて紹介します。

#### 野辺地町漁協 野坂 ナリ子指導漁業士



漁業士の認定を受けてから様々な場に出る機会があるので、自分にとってはとても良い勉強の場になっております。でも何を指導してよいのか迷いますし、また女性漁業士は6人だけですので何から取り組むべきか迷っていますが、勉強しながら前進あるの

みと自分に言い聞かせております。私達は生活の場である陸奥湾を守るため、森と川と海の環境問題に特に力を入れて進めたいです。一人では何もできませんが大勢だと何かできるはず。洗剤やゴミ問題に取組み、次世代へきれいな海を残したいです。

#### 鱒ヶ沢漁協 三ツ谷 栄子指導漁業士



私は漁協女性部の仲間と、加工所と海の駅「わんど」の直売所を行ったり来たりで魚を相手に仕事をしています。女性漁業士の認定を受けた時から自分は何が出来るのかと考えていましたが、海浜清掃等の活動に参加した時に先輩漁業士の皆さんがいろいろ教

えて下さるので、今では出来る事からやろうと思うようになりました。これからも足手まといにならないように、そして皆さんのお力をお借りしたら、私達女性でもホームステイ研修の生徒さんを受け入れられるのではないかと考えています。

#### 平内町漁協 江戸 英子指導漁業士



漁業士として何が出来るか考えた時に、自分だけでなく女性部の活動を通して何か出来るのではないかと思います。女性部では植樹・育樹事業に率先して参加したり、自分達の仕事であるホタテを使

った料理を各種イベント等で販売したり、海浜清掃や花壇整備花いっぱい運動等を実施していますので、そういった活動を通して自分なりにがんばっていきたくと思っています。

#### 鱒ヶ沢漁協 長内 詩子青年漁業士



漁業士の認定を受けてから2年目になりますが、今までと大きく変わった事といえば、海の駅に直売所を始めたことです。新鮮な魚と女性部で作った加工品をメインにして販売しています。魚離れが進む中、本当の魚のおいしさをPRするためにがんばっています。

### 脇野沢村漁協 立石 由喜子指導漁業士



指導漁業士に認定され、漁業士会の研修や活動にも声をかけていただきながら、地元

の青年部活動への協力くらいで遠地への参加ができず、申し訳なく残念に思っています。どうしても家の仕事が優先になり、所属する女性部の

方向づけもできず恥ずかしい限りです。まだまだ勉強したい、経験したいと思う気持ちだけが先走っていても思うようにはいかないものですね。

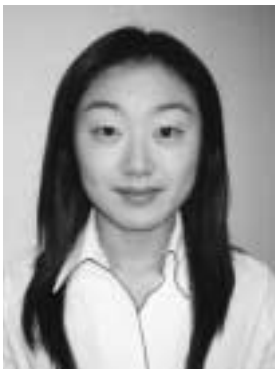
### 尻労漁協 向井 彰子指導漁業士



凧だ日は朝早くから夫と一緒に沖に出て網起こしをし、陸では主婦業の他に、漁業士会むつ支部会主催の「海の幸 3 の市」で自分達が獲った魚介類を販売しています。また、村の各種イベントにも参加しているので直接消費者に接する機会が多く、今年

は消費者のニーズに対応するため保健所の許可を取得しました。下北だけでなく青森県の水産業そして女性の発展につながればと日々がんばっております。どうぞよろしくお願ひします。

### 青森地方水産業改良普及所 森 恭子技師



女性漁業士の方に活発な意見交換・活動をしてもらえるような環境づくりをしていきたいと考えています。男性漁業士の皆さん、奥様やお友達に当会の活動を積極的に紹介して興味をもってもらうことが、女性漁業士の増加につながっていきます。男性・女性

それぞれの視点で水産業の問題を捉え、大いに意見交換をしながら、これからの厳しい水産業界を明るく逞しく乗り切っていきましょう！ご協力よろしくお願ひします！

### むつ水産事務所 山内 弘子技師



むつ水産事務所初の女性普及員として4月から赴任しました山内弘子です。関根浜、石持、野牛、岩屋、尻屋の計5漁協を担当しています。調査の際には白いほっかむりをして

います。見たことがないカッチャだと思われた時には声をかけてください。多分それは私です。女性だということで、市町村、漁協、漁業者の方には大変気を使っただきありがたく思っています。微力ながら精一杯がんばりたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

## 「女性漁業士交流会（青森・宮城・岩手）に参加しました！」

8月21～22日、岩手県水沢市において岩手県漁業士会主催により「青森・宮城・岩手 女性漁業士交流会」が開催されました。青森県は今回が初参加となり、野辺地町漁協 野坂ナリ子指導漁業士、青森水改 森技師、水産振興課 花田主事の3名が出席しました。

交流会では「女性漁業士を増やすためには」というテーマで総合討議が行われ、漁業士自体に対する認識不足、女性部との役割の違い、若い人達が参加してくれない、漁協はまだ男性上位である、など各県とも共通の問題を抱えていることが分かりました。参加した皆さんは、漁業者としての仕事や女性部の活動を通して、漁村での女性の地位向上や後継者育成に熱心に取り組んでおり、活発な意見交換が行われていました。

### 「15年度青森県漁業士会通常総会について」

平成15年5月9日、青森市のラ・プラス青い森で平成15年度通常総会を開催し、平成14年度事業報告及び平成15年度事業計画について決定しました。

総会の席上、事務局の不手際により14年度収支決算書及び15年度予算案に誤りがあり、会員の皆様大変ご迷惑をお掛け致しました。後日、訂正した14年度収支決算書及び15年度予算案を全会員宛に送付させて頂きました。

今後、このようなことがないよう細心の注意を払って事務を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

# 支部トピックス

## 東青支部 S

### 「またも、穴が開いている!!」

平館村漁協 高坂嘉男

2月下旬になると平館海峡にトドが現れて、底建網に穴が開けられるようになった。人がくぐれるような大きいものから、手の大きさくらいの小さなものまで様々な穴が開き、網おこしをする度に修理をしているが、次から次へと開けられ修理が追いつかない状態となった。そのため、いったん網上げし、トドがいなくなるのを念じて5月上旬に網入れしたが、それからは穴が開かなくなった。おそらく水温と関係していると思う。新聞等で分かっている限り、4漁協で被害金額は6千万円で、私も5ヶ統中4ヶ統が穴を開けられ水揚げにかなり響いた。また来年も来ると思うと頭が痛い問題である。



## 日本海支部 S 「海浜清掃」

赤石水産漁協 石岡清美

去る7月1日、深浦町広戸漁港付近の海岸を支部会員及び深浦町役場職員等総勢25人で、海岸に流れ着いた漂着物の清掃をおこないました。ペットボトルやハンゲル文字の入った漂着物が多く、約1時間の清掃で2トントラック1台分にもなりました。遠目ではきれいに見える海岸も、近くによるとものすごい量のゴミが漂着しており、会員一同驚いていました。同日に日本海支部会の総会では「ヒラメの標識放流結果」の学習会を行いました。私たちの生活の糧となる魚資源を絶やさないためにも、きれいな海を未来に残す努力と意識を持たなければと思わせる1日でした。



## 「西海岸美化推進DAY」

鱈ヶ沢漁協 生駒司



6月28日に西海岸3町村(鱈ヶ沢・深浦・岩崎)の連携により設立した「西海岸美化協議会」の主催により県内市町村から1,200人のボランティアが参加し、大掛かりな海岸クリーン作戦を行った。集められたゴミは、漂着物のほか心ない行楽客や釣り人が捨てていったと思われる弁当の食べかすやペットボトル・空き缶が散乱しており、モラルの低さを指摘しながら清掃活動を行った。協議会の会長として、海岸の惨状には残念に思うが、今回集まっていた多くのボランティアの善意に対し感謝するとともに、この善意の輪が広がり環境に対する意識が高まってほしいと願っています。

# 支部トピックス

## 三八支部

八戸市南浜漁協 深川修一

### 「水産教室を開催!!」

八戸市南浜漁協では5月29日に、八戸市立種差小学校4～6年の児童46人を対象に水産教室を開催し、学校近くの深久保漁港でサケの稚魚5千尾を放流した。稚魚は昨年秋に同市の新井田川漁協ふ化場で採卵・ふ化し、南浜漁協が4月から漁港内の生簀で飼育したもの。放流を前に八戸水産事務所長から「サケは4年経つと大きくなって戻ってきます、優しく放流してください。」と挨拶。児童達は稚魚の入ったバケツをゆっくりと傾け「無事に帰ってきてね。」などと声をかけながら海に放流した。“生命の大切さ”を感じ取り、将来この中から漁業に従事してくれる子供が育ってくればいいと思った。



### むつ支部 「関根小学校水産教室」

関根浜漁協 奥川三治

今回の内容は、前半がウニ、アワビの生態の勉強、後半が関根浜前浜でとれる魚の勉強と山内先生（普及員）の海藻を使った押葉のしおり作りでした。教室では、山内先生がウニの成長サイクルを説明した後、実際にウニを使って産卵の様子等の説明を行いました。初めはうまく行きませんでした。時間がたつにつれてうまく産卵が出来ました。子供達の驚く笑顔が印象に残りました。その後、場所を外に移して、魚の生態の学習と押葉のしおり作りの作業に入りました。「繊細に作る人」、「どうでも良い人」様々に子供達の個性が出て興味深かったです。魚の生態の学習では、数種類の中から自分が興味を持った魚をプールの中からピシヨぬれになりながらつかみ上げ、先生や友達に自慢しており、たのもしく感じました。



#### （お詫びと訂正）

「浜風」第10号の新規会員の紹介記事に誤りがありました。館栄治郎指導漁業士・深川修一指導漁業士の所属漁協が「はちのへ漁協」となっていました。正しくは「八戸市南浜漁協」です。関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたこととお詫び致します。

ご意見・ご感想をお寄せください。

青森県漁業士会 『浜風』編集委員会

事務局 青森県農林水産部水産振興課内

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 電話 017-734-9592

#### （編集後記）

人事異動により4月から事務局が全員新しくなりました。私は始めてのことばかりでとまどいながら仕事をしています。みなさんにご迷惑をお掛けしているかと思いますが、今後ともよろしく願います。（花田）